雪下ろし作業計画書

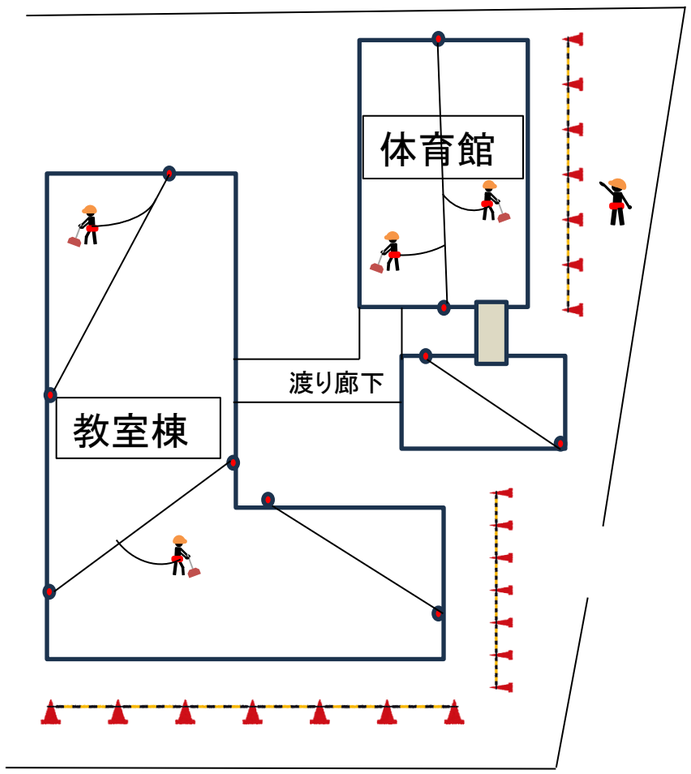
現場名　〇〇校舎雪下ろし

〇〇年　〇月　〇日

作業名	校舎屋根雪下ろし		事業者	〇〇建設	作成者	安全　一郎	
使用機械（資材等）	種類	親綱	墜落制止用器具		安全ブロック	ロリップ（伸縮調節器）	
	数量	5	4		4		
	種類	はしご	スコップ		スノーダンプ		
	数量	2	4		4		
		固定方法（　　）					
作業期間	〇〇年　〇月　〇日　～　〇〇年　〇月　〇日						
選任・指名	責任者	安全　一郎 携帯電話（　080-1234-5678　）			作業者	作業員４人（責任者を除く）	
合図方法	笛　・　(無線)　・　携帯電話				合図者	(責任者)・その他（　　）	
立入禁止措置	・　監視人　（　　人）　・バリケード　・トラロープ　(・カラーコーン)						
作業場所	場所	教室棟・体育館屋上					
	地形	(・平坦)　・勾配（　　）度　・段差地　・作業面　(広い)　（狭い）　雪止（あり・(なし)・不明）					
天候	午前	晴のち曇り　予想最高気温　５ ℃　予想最低気温　０ ℃					
	午後	曇り　予想最高気温　６ ℃　予想最低気温　２ ℃					
作業方法内容	・　図面で示された、教室棟、体育館の屋根の雪下ろしを実施する。業者は作業責任者を選任し、屋根の構造等						
	を事前に調査・確認する。墜落防止措置は、教室棟、体育館に設置している支柱に親綱をつなぎ、親綱に安全						
	ブロック及びランヤード等をつないで作業を行う。						
	・　通路面に雪を落とす場合は作業指揮者と連携を図りながら作業を行う。						
	・　屋根の軒先より１ｍ以内には近づかないようにする。						
安全対策	・　服装や保護具の適正な着用を確認。使用器具の事前点検をすること。						
	・　強風等で危険な場合は作業を中止する。気温が高い場合も雪の滑落の恐れがあるため作業中止とする。						
指導事項	・　作業手順について必ず事前に打ち合わせを行うこと。						
	・　作業指揮者と作業者の間で合図の方法を確認すること。						
	・　緊急連絡体制を確認すること。						

配　置　図（作業場所全体を示す平面図）

作業範囲、カラーコーンによるバリケード設置、合図者等



作業計画チェック表　※☑して安全に作業しましょう	
計画中のチェック項目（①③④は決めること）	作業開始前のチェック項目（大丈夫の状態で作業開始）
①　親綱を取り付ける場所は?　□決めた　□決めてない	①　墜落制止用器具やヘルメットなど保護具の数は？　□大丈夫　□　足りない
②　墜落制止用器具の接続方法は?　□親綱　□安全ブロック　□その他	②　天候は確認していますか?（悪天候・暖気では？）　□大丈夫　□していない
③　はしごの場所・固定方法は?　□決めた　□決めてない	③　作業計画を作業員に周知しましたか?　□大丈夫　□していない
④　雪下ろし箇所の立入り禁止区域措置は?　□決めた　□決めてない	④　体調の悪い作業員はいませんか？　□大丈夫　□確認していない

社長（代表）	課長（作業者）	作業責任者